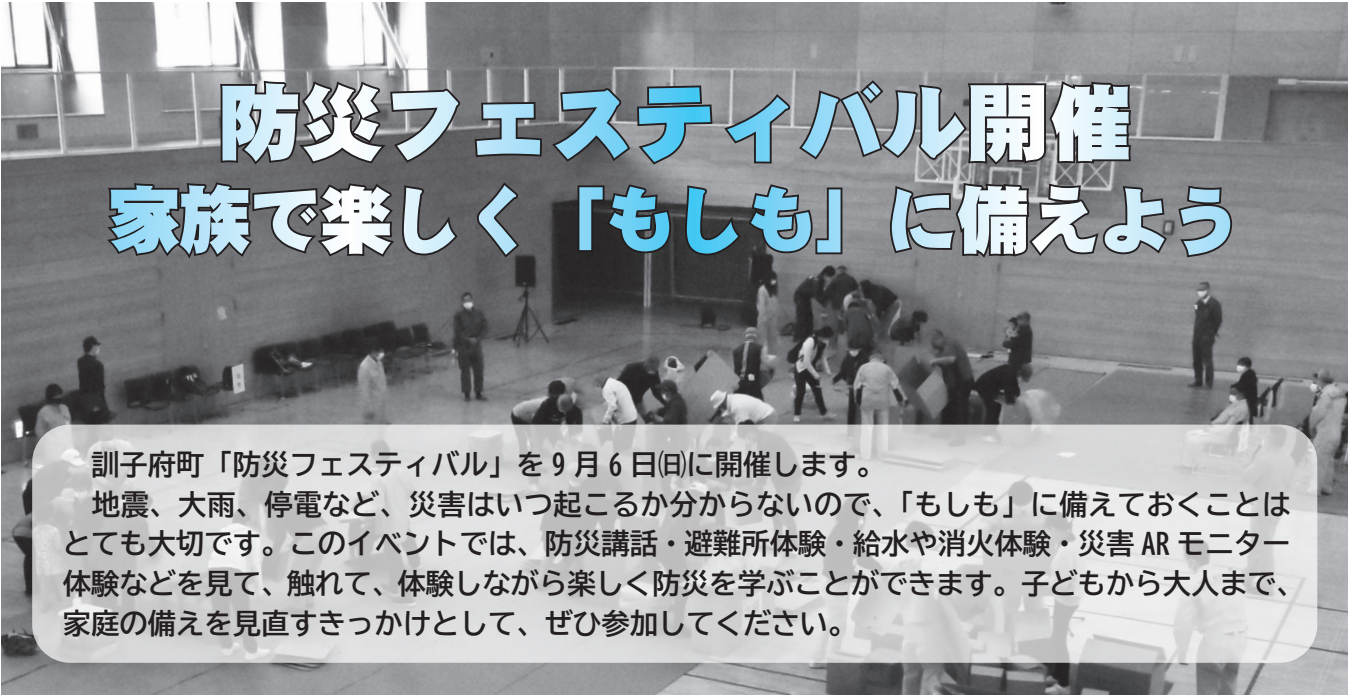




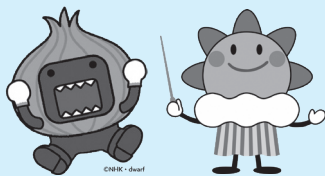
訓子府町「防災フェスティバル」を9月6日(日)に開催します。
地震、大雨、停電など、災害はいつ起こるか分からないので、「もしも」に備えておくことはとても大切です。このイベントでは、防災講話・避難所体験・給水や消火体験・災害 AR モニター体験などを見て、触れて、体験しながら楽しく防災を学ぶことができます。子どもから大人まで、家庭の備えを見直すきっかけとして、ぜひ参加してください。

開催概要

- と き 9月6日(日)10時～13時 雨天決行
- ところ 町公民館、町スポーツセンター、町公民館前駐車場（3会場で実施）
- ※町スポーツセンター内では、避難所を想定した体験を行うため、上靴を持参してください。

時 間	内 容	場 所
10:00～10:05	開会式	町公民館
10:05～10:30	防災講話（1回目）	町公民館
10:30～13:00	各種体験・展示ブース開放	町公民館、町スポーツセンター、町公民館前駐車場
11:00～11:45	「福島しあわせ運べるように合唱団」WEB 交流	町公民館
11:30～11:40 11:50～12:00 12:10～12:20	避難所生活で役立つエコノミークラス症候群予防体操	町スポーツセンター
11:30～12:45	自衛隊炊き出しカレー	町公民館前駐車場
11:45～12:15	給水体験	町公民館前駐車場
12:00～13:00	防災記念品配布（スタンプカードと引き換え）	町公民館
12:30～13:00	防災講話（2回目）	町公民館

- ◇「スタンプラリー」で防災記念品をプレゼント
会場でスタンプカードを配布します。各ブースを回ってスタンプを集めることで、防災記念品を受け取ることができます
※数に限りがあります。
- ◇着ぐるみキャラクターが登場
NHK 北見放送局から「たまねぎどーもくん」、気象庁から「はれるん」が会場にやってきます。お楽しみに



体験・展示ブースの一部を紹介

公民館 「知る」～ 講話・交流・備えの展示

- 防災講話「もしもの時にあわてないために～家族で学ぶ防災～」
講 師 雨森晴香さん（気象予報士、気象防災アドバイザー）
タ方のニュースでおなじみの雨森さんが、今日から役立つ「備え」を分かりやすく講話します
- 福島しあわせ運べるように合唱団との WEB 交流
小学生から大学生までの団員が所属する「福島しあわせ運べるように合唱団」（雨森気象予報士）は、震災の経験と向き合いながら伝承活動を行っています。合唱映像の上映や団員との WEB 交流を通して、災害の怖さと備えの大切さを考える貴重な機会となります
- 防災備蓄品・防災パネルの展示
家庭備蓄の参考になる展示を多数用意します



スポーツセンター 「体験する」～ 避難所・体操・災害 AR モニター

- 避難所体験「実際の備蓄品で避難所を再現」
段ボールベッド、テントなどを設置し、実際の避難所の区画を再現します。見て、触れて、寝て避難所を自由に体験できます
- 段ボールベッド組み立て体験
避難所で役立つ段ボールベッドの組み立てを体験できます
- エコノミークラス症候群予防体操
インストラクターの部田夏子さんと一緒に、避難所生活で起こりやすいエコノミークラス症候群を予防する体操を実践できます
- 災害 AR モニター体験（NHK 北見放送局）
AR モニターで、映像による災害の疑似体験ができます
※AR とは、現実世界にデジタル情報を重ね合わせて表示する拡張技術です。



公民館前駐車場 「動いて学ぶ」～ 炊き出し・給水・消火・車両展示

- 炊き出し（カレー）限定 300 食
災害時を想定した自衛隊によるカレーの炊き出しを実施します
- 給水体験
給水タンク 2 台から、水袋への給水を体験できます
- 煙ハウス体験・消火体験
煙の中での避難の難しさや初期消火のポイントを体験できます
- 高所作業車の乗車体験
普段は乗れない作業車に乗って、高所作業の視点を体験できます
- 車両展示
自衛隊装甲車や消防車など、普段間近で見られない車両を多数展示します



※そのほか、多くの体験・展示ブースを予定しています。

■問合せ 総務課防災危機管理係（☎ 47-2112 役場 2 階 窓口 10 番）